

平成29年度採択分

「農業界と経済界の連携による生産性向上モデル農業確立実証事業」における連携プロジェクト一覧（団体名の50音順）

No.	プロジェクトの要旨 (団体名)	農業界の代表者 経済界の代表者	実証地	その他の 構成員	連携プロジェクトの内容
1	ICTやグループウェア等を活用した圃場管理による農業経営の見える化 (越後スマート農業プロジェクト)	㈱ふるさと未来 ㈱アイテック	新潟県	企業、その他	スマートフォンをかざすだけで情報が取得できるNFCタググループウェア等を活用した農業経営の見える化を行い、生産コストの低減と生産性の向上を図る
2	温湿度管理とマルハナバチの活動量の見える化による温室栽培環境の安定化 (気候変動対応型コンソーシアム)	(有)さかき ㈱環境デザインラボ	千葉県	農業法人、企業(3社)	施設園芸において、水道圧でも発生可能な低価格で濡れない汎用性の高いミスト機を開発し、温室栽培環境の安定化をさせるとともに、マルハナバチの活動を活性化し、品質と収量の向上を図る
3	水田の低コスト水位管理センサーの開発 (シンプルかつ低コストな水田ICT化プロジェクト)	㈱ヤマザキライズ 北海道セイカン工業㈱	埼玉県	企業	導入・維持が低コストで必要最小限の機能に絞った水田の遠隔水位センサーを開発し、生産コストを低減する
4	CO2施用と補光等の技術を組み合わせた新たな栽培システムの開発 (新CO2施用統合システムを核とした果菜類と果樹のハイブリッド周年栽培による新ビジネスモデル創出)	㈱リコベル ㈱テヌート	山梨県	大学	施設園芸において、花を咲かせながら結実させる連続開花結実法（周年出荷可能）に対応したCO2とAir局所施用及び補光や無線等の技術を組み合わせた統合システムの実用化により、端境期における生産を確立し、収益向上を図る
5	自動操舵式除草用ポートと水田用水自動止水装置の開発 (新世代稲作農機開発コンソーシアム)	㈱和仁農園 ㈱インフォファーム	岐阜県	農業法人、JA、企業(2社)	水田作業において、ボディーボードを活用した自動走行除草用ポートと安価で簡易な（バネ動力等を活用した）水田用水自動止水装置を開発し、生産コストの低減を図る
6	縦型高密度式水耕栽培システムを活用した植物工場の開発 (先端的栽培システムによる植物工場の高密度化・作業性向上による高効率化、及び先端的太陽光併用型植物工場の開発コンソーシアム)	㈱エム 鋼飯商事㈱	愛知県	企業	植物工場において、縦型高密度式水耕栽培システムと太陽光採光システムの開発により、生産性の向上と生産エネルギーコストの低減を図る
7	果樹栽培現場における環境計測データ、熟練者の作業登録データ、気づき、ノウハウ等を活用した生産技術の高度化・標準化 (農業ICTの活用による果樹生産性向上、伝承推進PJ)	(有)ぶどうばたけ ウォーターセル㈱	山梨県	企業(2社)	露地果樹栽培において、環境計測データと熟練者の作業データを記録した営農アプリケーションの開発・導入により、就農者の生産技術の高度化・標準化の早期取得を実現し、生産性の向上を図る
8	メタン発酵残渣の効率的な利用方法の確立 (メタン発酵消化液等の効率的な利用方法確立プロジェクト)	㈱クボタeファームやぶ ㈱トヨーエネルギーファーム	兵庫県	農業者(2者)、企業、地方自治体	メタン発酵消化液の効率的な散布や近郊地域からの運搬に係る実証を行い、消化液の効率的な利用方法を確立することで、肥料コストの削減とメタン発酵施設の普及を図る
9	輸出国の残留農薬基準データベースやGAPに対応したICTシステムを活用した栽培作付手法の確立 (輸出拡大に向けた栽培作付手法確立実証事業コンソーシアム)	㈱横江ファーム パナソニック㈱ コンソーシアム)	滋賀県	農業法人、JA、企業、その他	輸出国の残留農薬基準にあった栽培方法や品質担保対応（GAP対応）を支援する農業管理システムの開発により、輸出を拡大するための栽培手法の確立を図る

参加企業等合計：農業法人12社、農業者2名、JA2者、  
企業21社、大学1校、地方自治体1市、  
その他2者  
合計41者